

様式第六（第八条関係）

（ 記 入 例 ）

特定施設設置届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

盛岡市上下水道事業管理者（北上川上流流域下水道事務所長）様

申請者

住所 盛岡市内丸12-2 電話番号 019 (651) 4111

氏名又は名称及び法人にあ 株式会社〇〇〇〇

ってはその代表者の氏名 代表取締役 盛岡太郎 印

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の18第1項において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇レストラン盛岡店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	盛岡市愛宕町6-8	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	66の6 飲食店のちゅう房施設	※施設番号	
△特定施設の構造	別紙のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	※備考	
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- 1 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

号 番 号 及 び 名 称	66 の 6 飲食店のちゅう房施設	
型 式	/	
構 造		
主 要 寸 法	<p>430㎡</p> <p>※ 総床面積には、ちゅう房、客席、廊下、洗面所、従業員の更衣室、倉庫棟が含まれますが、従業員等の住居、屋内駐車場、及び床面積に当たらないガーデン席、テラス席等の屋外客席部分は算入しません。</p>	
能 力	250席	
配 置	別添-1のとおり	
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 「配置」の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の数を記載すること。

2 事業場内の特定施設の配置図を添付すること。

## 別紙 2

## 特定施設の使用の方法

号 番 号 及 び 名 称	66 の 6 飲食店のちゅう房施設				
設 置 場 所	別添-1のとおり				
操 業 の 系 統	別添-2のとおり ※ 作業工程のフローシートを添付してください。				
使 用 時 間 間 隔	10:00~22:30 営業時間 11:00~22:00				
1 日 当 た り の 使 用 時 間	1 2. 5 時間				
使 用 の 季 節 的 変 動	2, 8月は少なく, 11, 12月が多い				
原 材 料 ( 消 耗 資 材 を 含 む 。 ) の 種 類 , 使 用 方 法 及 び 1 日 当 た り の 使 用 量	各種食材, アルコール類 食器洗い洗剤等 ○○ℓ/月 床磨き用洗剤 ○○kg/月 ※ 成分表を添付してください。				
汚 水 の 水 質	種 類 ・ 項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度	7. 0	1 0. 0		
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動物油脂類)	8 0	1 0 0		
	生物化学的酸素要求量	6 0 0	7 0 0		
	浮遊物質	4 0 0	5 0 0		
	温度	3 0	3 5		
汚 水 の 量 (立方メートル/日)	通 常	最 大	通 常	最 大	
	○○	○○			
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	食数 ○○食/日 営業日数 ○○/月				

備考 「汚水の水質」の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 3

汚水の処理の方法

処理施設の設置場所	別添-1のとおり								
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日					年	月	日	
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日					年	月	日	
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日					年	月	日	
種類及び型式	グリーストラップ, 厨房排水処理施設				} 別添-3の内容 構造図, 仕様書 処理のフローシート 等				
構造	別添-3のとおり								
主要寸法	〃								
能力	〃								
処理の方法	連続式処理								
処理の系統	別添-3のとおり								
集水及び導水の方法	自然流下								
使用時間間隔	連続自動								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	なし								
反应用消耗資材の1日当たりの用途別使用量	水酸化ナトリウム〇〇g/日, 塩酸〇〇g/日								
汚水の水質	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	水素イオン濃度	7.0	7.0	10.0	8.5				
	ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂類)	80	15	100	25				
	BOD	600	400	700	550				
SS	400	300	500	400					
温度	30	20	35	20					
汚水の量 (立方メートル/日)	通常		最大		通常		最大		
	〇〇		〇〇						
残さの種類, 1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥〇〇m <sup>3</sup> /月 産廃業者処理委託 油分〇〇ℓ/月 産廃業者処理委託								
排出水の排出方法	公設マス1個(別添-1)に排出								
その他参考となるべき事項	産廃回収業者等を記入 ※ 契約書の写しを添付してください。								

備考 1 「汚水の水質」の欄には, 当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 「排出水の排出方法」の欄には, 排水口の位置及び数並びに排水先を含め記載すること。

別紙 4

事業系及び生活系の総排水量を記入してください。

下水の量及び水質

排水口名	公設マス 1				単 位
	通常	最大	通常	最大	
排水量 (立方メートル/日)	〇〇〇	〇〇			
項 目					
温度					度
アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量					ミリグラム/リットル
水素イオン濃度 (pH)					水 素 指 数
生物学的酸素要求量 (BOD)					5 日間 ミリグラム/リットル
浮遊物質量 (SS)					ミリグラム/リットル
ノルマルヘキサン抽出物質含有量					
┌ 鉱油類含有量					ミリグラム/リットル
└ 動植物油脂類含有量					ミリグラム/リットル
窒素含有量					ミリグラム/リットル
リン含有量					ミリグラム/リットル
汚濁消費量					ミリグラム/リットル
カドミウム及びその化合物					ミリグラム/リットル
シアン化合物					ミリグラム/リットル
有機リン化合物					ミリグラム/リットル
鉛及びその化合物					ミリグラム/リットル
六価クロム化合物					ミリグラム/リットル
砒素及びその化合物					ミリグラム/リットル
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物					ミリグラム/リットル
アルキル水銀化合物					ミリグラム/リットル
ポリ塩化ビフェニル					ミリグラム/リットル
トリクロロエチレン					ミリグラム/リットル
テトラクロロエチレン					ミリグラム/リットル
ジクロロメタン					ミリグラム/リットル
四塩化炭素					ミリグラム/リットル
1, 2-ジクロロエタン					ミリグラム/リットル
1, 1-ジクロロエチレン					ミリグラム/リットル

シス-1, 2-ジクロロエチレン					ミリグラム/リットル
1, 1, 1-トリクロロエタン					ミリグラム/リットル
1, 1, 2-トリクロロエタン					ミリグラム/リットル
1, 3-ジクロロプロペン					ミリグラム/リットル
チウラム					ミリグラム/リットル
シマジン					ミリグラム/リットル
チオベンカルブ					ミリグラム/リットル
ベンゼン					ミリグラム/リットル
セレン及びその化合物					ミリグラム/リットル
ほう素及びその化合物					ミリグラム/リットル
ふっ素及びその化合物					ミリグラム/リットル
1, 4-ジオキサン					ミリグラム/リットル
フェノール類					ミリグラム/リットル
銅及びその化合物					ミリグラム/リットル
亜鉛及びその化合物					ミリグラム/リットル
鉄及びその化合物 (溶解性)					ミリグラム/リットル
マンガン及びその化合物 (溶解性)					ミリグラム/リットル
クロム及びその化合物					ミリグラム/リットル
ダイオキシン類					ピコグラム/リットル
摘 要					

備考 1 「排水口名」の欄には、排水口は原則として工程系下水と生活系下水に分けて記入すること。

2 「下水量」の欄には、各々の排水口での量であり、同じ排水口に工程系下水と生活系下水が混合する場合区分して記入すること。

3 「水質」の欄には、排水口ごとの水質を記入すること。(工程系下水の場合除害施設の出口の水質と一致しないことがあります。)

4 「摘要」の欄には、排出汚水の水量又は水質の推定の根拠等を記載すること。

※ 記入上の注意

- 1 公設マスに流入する直前の排出汚水に含まれる項目について記載してください。
- 2 含まれる項目の数値及び排水量が推定値の場合、根拠を示す説明書を添付し、後日、水質検査表を提出してください。
- 3 公設マスに流入する下水が、水質基準を超えるおそれのない生活排水だけの場合は記載を省略できます。

別紙 5

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<p>別添－１のとおり</p> <p>※ 別添－１の記載内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業場等建物の平面図 (面積の算定に必要な寸法を記入してください。)</li> <li>2 特定施設及び除害施設等の位置</li> <li>3 給水経路(青色)と公設マスまでの排水経路(赤色)</li> <li>4 必要によって雨水排水経路(緑色)</li> </ol>	
<p>用途別用水使用量 (立方メートル/日)</p>	<p>用 途</p>	<p>用 水 量</p>
	<p>ちゅう房用水</p>	<p>〇〇</p>
	<p>客席洗浄用水</p>	<p>〇〇</p>
	<p>生活用水</p>	<p>〇〇</p>
	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>